

変異遺伝子のモニタリングによる 大腸癌術後の微少転移及び再発の新たな評価法の検証

1. 研究の対象

2016年1月から2020年3月までに当院外科にて大腸がんの治療を受けられた方、かつ上記研究課題への参加同意をいただいた方

2. 研究期間

倫理委員会承認後～2025年12月31日まで

3. 研究目的・方法

DNAは体のすべての細胞にある遺伝子を構成する物質のひとつです。がんの患者さんでは、そうでない人と比べて血液中のDNAが多く含まれていることが知られています。これは体の中にあるがん細胞の代謝が早いことから、がん細胞由来のDNAが多く含まれるためと考えられています。また、がん細胞はその発生・進展（広がり）の過程でDNAの突然変異を起こします。これはがん細胞に特有のもので、正常細胞ではほとんど見られません。したがって、血液中のDNAに突然変異があることがわかれば、症状がなくとも体のどこかにがん細胞が存在することがわかるかも知れません。今回の研究では、すでに大腸がんの治療を受けることが決まっている患者さんにご協力いただき、治療の前後で、突然変異を起こしたDNAの量がどのように変化するかを観察します。血液中に存在する大腸がん細胞由来のDNAが、大腸がんの存在診断に有用な指標となるかを検証することができます。本研究から得られたデータは個人情報の保護に配慮しながら、国際的なデータ共有を目的とした公的データベースへ登録いたしますことをご了承ください。また、研究にご参加いただいた患者さんからご供与いただいた検体の余剰分について、大学等の研究機関や民間企業に所属する研究者が新たに活用させていただくために、改めて研究計画書を提出し倫理審査で承認を得られた場合のみ使用させていただきますことがあります。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

今回の研究では大腸がんの治療を目的に来院された患者さんから手術または生検で採取した大腸がん組織の一部、およびその患者さんの治療経過中の血液を用いて研究を行います。また、治療内容や時間経過による変化を観察するため、カルテ情報を参照しながら解析を行います。

5. 研究費および利益相反

本研究は研究代表者らが獲得した公的資金（文部科学省科学研究費補助金など）や民間企業からの本学へ提供されている研究を財源として行われます。本研究においては開示すべき利益相反はありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記研究責任者の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1
岩手医科大学 医歯薬総合研究所・医療開発研究部門
特任教授 西塚 哲（にしづか さとし）
電話：019-651-5111
FAX：019-907-1528